

令和6年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 宮本 康博

○ 令和6年度重要事業

事業名	経営強化に向けた取組の推進
目標	将来にわたって持続可能な地域医療提供体制を確保していくため、引き続き、救急医療体制の堅持と地域包括ケアシステムの推進を図り、急性期から回復期まで質の高い医療を幅広く提供していくとともに、「射水市民病院経営強化プラン」で掲げた経営強化に係る取組を着実に実施することで市民病院の経営強化を推進します。
年度末達成状況	富山大学附属病院との連携を強化し、手術件数の増加、救急搬送に係る協定の締結など、入院患者を中心に患者確保に取り組んだことで医業収益は大きく増加する見込です。 一方で、給与改定による人件費や、物価高、労務単価の上昇による維持管理費など、費用についても大きく増加する見込です。
自己評価	これまで以上に関係機関との連携を強化することで医業収益の向上を図るとともに、増大する費用について見直しを図ることで経費削減に取り組むなど、「射水市民病院経営強化プラン」に掲げた経営改善に係る取組を推進します。

事業名	効率的で効果的な病院運営の推進
目標	令和6年度診療報酬改定の内容を精査するとともに、医師・看護師を始めとした医療人材を確保し、安全・安心で質の高い医療の推進に努め、効率的で効果的な病院運営を推進します。
年度末達成状況	診療報酬改定に対応した施設基準等の取得に取り組みました。 また、新たに常勤医が確保されたことで、今後、患者の確保と医業収益の向上が期待できると考えています。
自己評価	安全・安心で質の高い医療を提供するために、さらなる医師や看護師など医療人材の確保に取り組むとともに、診療報酬改定を踏まえた効率的な病院運営を推進します。

事業名	地域連携と広報活動の推進
目標	開業医や他病院、介護施設との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。 また、病院ホームページや広報誌の活用、健康に関するイベントや出前講座の実施など、病院の積極的な広報活動を推進します。
年度末達成状況	射水市医師会と共同で9月に「病診連携の会」を開催するとともに、オンラインによる症例検討会を開催することで連携強化に努めました。 また、11月には「射水市民病院健康フェスタ」と題して院内でイベントを開催し、市内外から多くの方に参加いただき、市民病院を身近に感じていただきました。
自己評価	市民の皆様に市民病院を利用してもらうためには病院広報は大変重要であると認識しており、イベントの開催や、出前講座の実施、各部署が開催するイベントへの出張など、自らが積極的に情報発信するなど広報活動を推進します。